

地域包括ケアシステムにおける在宅療養に向けた看護の実践的研修

1. ねらい ケアプロセスを切れ目なくつなぎ、意思決定を支える看護の役割・連携を学ぶ。
2. 主催 公益社団法人新潟県看護協会
3. 日時 2022年1月14日(金)・15日(土) 10:00~16:00
4. 会場 新潟県看護研修センター
〒951-8133 新潟市中央区川岸町2丁目11 TEL025-265-1225
5. 対象 病院の看護職、介護・福祉施設の看護職、訪問看護に従事する看護職及び市町村行政看護職、ケアマネジャー、相談員、MSW等参加を希望する者 60名
(原則2日間参加、やむ得ない時は1日でも可。)

6. 内容

1日目【1月14日(金)】

- 1) 講義 講師：宇都宮宏子 在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス
「地域で“暮らす”、そして、“生きる”に伴走する看護」
 - ・病院から暮らしの場への移行支援
 - ・意思決定支援における看護の役割
- 2) GW「入退院調整における事例を共有し、その人がその人らしく生活を送ることを支える院内システムについて考察する。」

2日目【1月15日(土)】

テーマ「在宅療養支援の実際を知ろう

～この町で暮らし続けたいに伴走する看護、そしてつなぐ看護～」

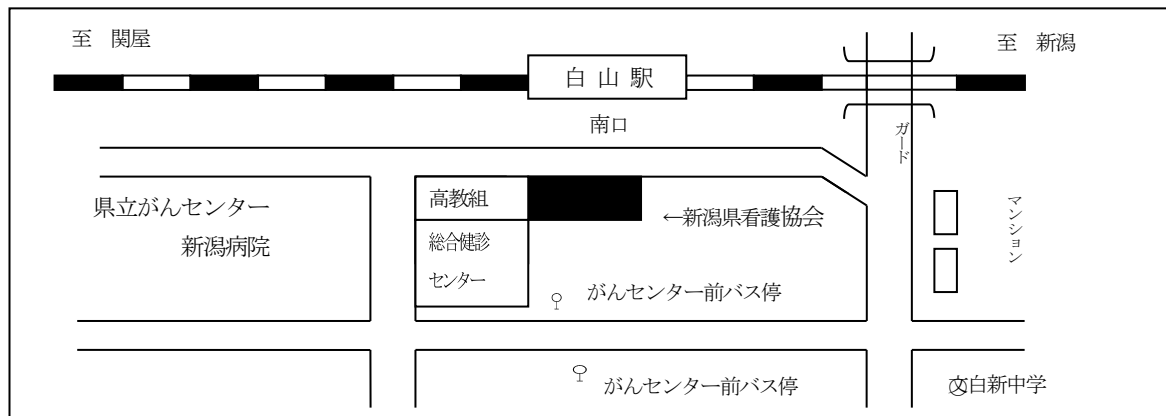
- 1) 現状報告 報告者：4名
 - (1) 訪問看護師による在宅支援の現状と課題
馬場 由起 東新潟訪問看護ステーション 管理者 看護師長
 - (2) 地域包括支援センター保健師・看護師等による支援の現状と課題
須貝 秀昭 新潟市地域包括支援センターふなえ
社会福祉士 看護師
 - (3) ケアマネジャーによる在宅支援の現状と課題
西本 円 合同会社トウンプル ケアマネジャー
 - (4) 病院の看護師による退院支援の現状と課題
高澤 彩子 済生会新潟病院 地域連携福祉センター看護師長
- 2) GW「午前の報告やこれまでのCanCanミーティングから、県内の取り組みを共有し支援の現状から課題を明確にし、その解決のために何が必要でそれぞれの組織や所属で具体的に何ができるかを議論する」
 - (1) 病院、在宅、訪問看護、市町村行政、地域包括支援センター、ケアマネジャー、相談員、MSW等を含めたグループを編成。
 - (2) ファシリテーターを各グループに配置。

7. 日程 9:50~10:00 オリエンテーション
10:00~12:30 講義(2日目は現状報告)
12:30~13:30 休憩
13:30~16:00 GW演習/発表/総括：宇都宮講師

8. 受講料 会員 6,000円 非会員 12,000円

9. その他 事前課題の提出があります。

10. 会場略図 新潟県看護研修センター



※ JR：新潟駅より越後線で白山駅下車 南口出ですぐ